

武雄市文化のまちづくりデザイン会議 会議録

日 時	場 所	出 席	<input type="checkbox"/> 委員（山口夕妃子氏、七田忠昭氏、黒澤伸氏、井上俊正氏、田中友子氏、松尾陽輔氏、川副義敦氏、井上祐次氏、中野博之氏、光武英樹氏、綿島康浩氏、鳥谷憲樹氏、永松直子氏、稲葉充秋氏、山口祐香氏、諸岡智恵氏） <input type="checkbox"/> 小松市長 <input type="checkbox"/> 松尾教育長 <input type="checkbox"/> 市役所（生涯学習課 野口課長、企画政策課 中村係長） <input type="checkbox"/> 事務局（こども教育部文化課新文化会館整備準備室）
令和3年7月6日（火） 14:00～16:10	武雄市市役所 全員協議会室 （6階）		
1. 協議件名		第2回 武雄市文化のまちづくりデザイン会議 （テーマ：文化によるまちのにぎわいの創出について）	
議事録			
<p><b>1. 開会・市長挨拶（進行：山北文化課長）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は新しい文化の創造、文化のよるまちの賑わい創出 大事にしている考えは 3つ「市民に開かれたものにする、市民が気軽に関われるものにする 参画、人と人が繋がる 交流共生」を大事にしている。</li> <li>・オープン、フラット、シェアの観点からそのプラットフォームをつくりたい。 前向きな観点から議論を。</li> </ul> <p><b>2. 議事：テーマ 文化によるまちのにぎわいの創出について</b></p> <p>①第1回の振り返りについて（事務局より）</p> <p>②金沢芸術創造財団 芸術・交流アドバイザーで当会議の顧問でもある 黒澤 伸 氏に「新しい文化の創造と新たなまちのにぎわいの創出…金沢市の場合」について 講話をいただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○金沢21世紀美術館が外向け、金沢市民芸術村は市民向けの施設。 市民芸術村は中に音楽演劇スタジオを設けた24時間フルオープン年中無休で使える。</li> <li>○伝統が残っている金沢において2000年ごろ新しい文化（イノベーション）を起こすことが 大事だと考えるように。「新たな文化の創造が重要」と考えた。また、市内中心部より大学 などがなくなり、昼間において4000人の人口喪失の危機に。「新たな街のにぎわい創出」が 必要となった。</li> <li>○美術館の設計の時点で多様性という観点を取り入れた。スイミングプールはそれを特徴づけて いる。美術館ゾーン、交流ゾーン、パブリックゾーンと3層構造、円周がガラス張りとなって おり、外から中が見え、より開かれている。</li> <li>○市内の小中学生を招待。もう1回券の配布などリピーターをつくる仕組みも。</li> <li>○美術館ができ、街に若者が増え、新しいことをやってもいいんだという市民マインドの変化が おこった。毎年ギャラリーもオープンしている。</li> <li>○武雄の可能性について 黒髪山などの自然、お米、温泉など</li> </ul>			

### ③ディスカッション：ワークショップ形式

黒澤顧問の講話を聴いて、各自武雄に置き換えての記入をしてもらい、その後3つの班に分かれての分類、協議を行ってもらおう。

1. 武雄のいいところ、既に武雄にあるモノ、コト
2. 武雄にないもの、新しく武雄に求める、必要なモノ、コト

〈出席者の発表について〉

3班 キーワードとして自然、歴史、施設、イメージ、地理と分類を行っている。

いいところも今後必要なモノもたくさんある。

2班 既にあるモノ、素敵なモノとして温泉のある暮らし、深い歴史、そこから生まれた伝統文化豊かな自然、食文化など。また、図書館を含めて文化を発信する素晴らしい施設もある。

あったいいなというモノとして、湯の街の風情、伝統工芸の若者を育てる仕組み、人と人が出会う場所、武雄といえばこれだという素材、テーマがあればよいと考える。

1班 市民の主体性が大切なのでないかということ。文化を創造してくるのは市民、ハードルが高ければ継続性が生まれないのである。キーワードとして経済的なサポート。手頃な金額で使用できる施設。学生でも使いやすい施設が必要。

また、武雄には恵まれた地域資源があり、大切にしていきたい。そして産業界とのつながりが重要。こどもというキーワードがたくさん出た。こどもを大切にしていきたいという市民の想いを繋げる取組み。古さと新しさのバランスが大切。

まとめ（山口夕妃子会長）

- ・まちのにぎわいの創出、新しい文化の創造を考える際に必要なキーワード、新しいものを生み出すには考えをシェアしながらの必要があると考え、今回のスタイルとした。
- ・新しい取組みをどう武雄に落とし込んでいくのか。今回カテゴリー分けを行ったので中身の整理を行い、次回に繋げていく。

### 3. 報告（山北文化課長）

文化のまちづくり構想調査研究業務委託についての説明を行う。

### 4. 閉会（山北文化課長）

次回、第3回は8月20日（金）を予定。

部長 理事		課長 参事		係長		係員	
----------	--	----------	--	----	--	----	--